

# CN会ニュース

令和8年1月26日発行  
看護部教育 CNの会 No.3

令和7年8月29・30日横浜にて、第27回日本褥瘡学会学術集会が開催され、当院から4名が参加しました。

2040年を見据えて、褥瘡の視点からも、多職種の協働が必要であることを改めて学びました。

医療や介護を必要とし、褥瘡発生のリスクがある方に、その人らしく生活ができる療養環境を提供したい…  
そのためには多職種協働が必要です。



第27回  
日本褥瘡学会学術集会  
The 27th Annual Congress of Japanese Society of Pressure Ulcers

2025年問題を  
多職種で  
乗り越える

2025.8.29.・30.

会場 パシフィコ横浜ノース  
+展示ホールD

主催 門野 岳史  
日本褥瘡学会学術集会実行委員会

共催 増 直平  
JAPAN Pressure Ulcer Society

後援 内藤 画由美  
東京医科大学附属病院看護学部

出典: 平成28年3月地域包括ケア研究会報告「地域  
包括ケアシステムと地域マネジメント」

その人らしく生活するために…

医療機器・福祉用具の活用もそのひとつです。褥瘡予防用のマットは、療養者と  
介護者の負担が軽減できるように研究されています。



例えば、マットが自動で圧を分散してくれたり、リモコン部に体圧が表示され、しっかり体圧が分散されているか、見ることができます。

病院の中だけ  
でなく、患者さん  
の療養の場でも  
褥瘡予防につい  
て考えていきた  
いです。

